

#### 4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

##### 〔1〕市街地の整備改善の必要性

###### 現状分析

- ・本市の市街地整備は、JR 山陽本線の南北それぞれの市街地で土地区画整理事業等によって都市基盤整備が進められ、道路、公園等の整備が完了している。
- ・しかしながら、これまで平面軌道であった JR 山陽本線によって南北市街地が分断され、南北方向の幹線道路も少ないため、JR 山陽本線の南北では同じ中心市街地内にありながら性格が異なる市街地を形成している。
- ・このような都市構造の再編を図るため、JR 山陽本線等連続立体交差事業と姫路駅周辺土地区画整理事業が同時施行されており、JR 姫路駅を中心とした内環状線、内々環状線などの道路整備や、姫路駅前での交通結節性強化、にぎわい空間の創出に向けた駅前広場整備が進められつつある。
- ・また、中心市街地の歩行者・自転車通行量は漸減傾向であり、より多くの人々が訪れ、回遊し、長時間滞在できるような環境整備が必要である。

###### 市街地の整備改善事業の必要性

これらの現状を踏まえた市街地の整備改善に関する事業の必要性は、以下のとおりである。

- ・姫路駅周辺土地区画整理事業等により、キャストィ 21 のエントランスゾーン及びコアゾーンの整備を進めるとともに、JR 山陽本線による南北市街地の分断を解消し、南北市街地の一体化と交通の円滑化、両市街地の機能連携を推進していく必要がある。
- ・また、中心市街地の回遊性を高めるため、姫路駅と姫路城を結ぶシンボルロードである大手前通りの利活用を向上させるとともに、自転車の利用環境の充実を図るなどの環境整備を進めていく必要がある。

###### フォローアップの考え方

基本計画が認定された 2 年後以降の毎年度末に、基本計画に位置付けた事業の進捗調査を行い、目標指標への効果を確認し、状況に応じて事業の促進などの改善措置を講じる。

## 【参考①】キャストィ 21 について

### 1. 概要

キャストィ 21 は、姫路駅周辺で JR 山陽本線等連続立体交差事業により新たに生み出される広大な用地を活用し、「広域圏の中核都市にふさわしい、にぎわいとうるおいにあふれた交流都心」の形成を目指す新しいまちづくり計画である。

本市の将来を担う高次都心機能地区をメインエリア、都心周辺の良好な市街地整備の先導地区をサブエリア、既成市街地をベースにした市街地再整備のモデル地区を一般エリアとして、3つのエリアに区分し、各エリアごとに異なるコンセプトで整備する。

特に、メインエリアは播磨都市圏を背後圏とする 21 世紀の地方中核都市の都心にふさわしい機能の導入が望まれていることから、さらにエントランスゾーン、コアゾーン、イベントゾーンに分け、土地の高度利用を図るとともにゆとりと潤いのある都市空間の形成を図る。

### 2. メインエリアのゾーニング

#### (1) エントランスゾーン (2.6ha)

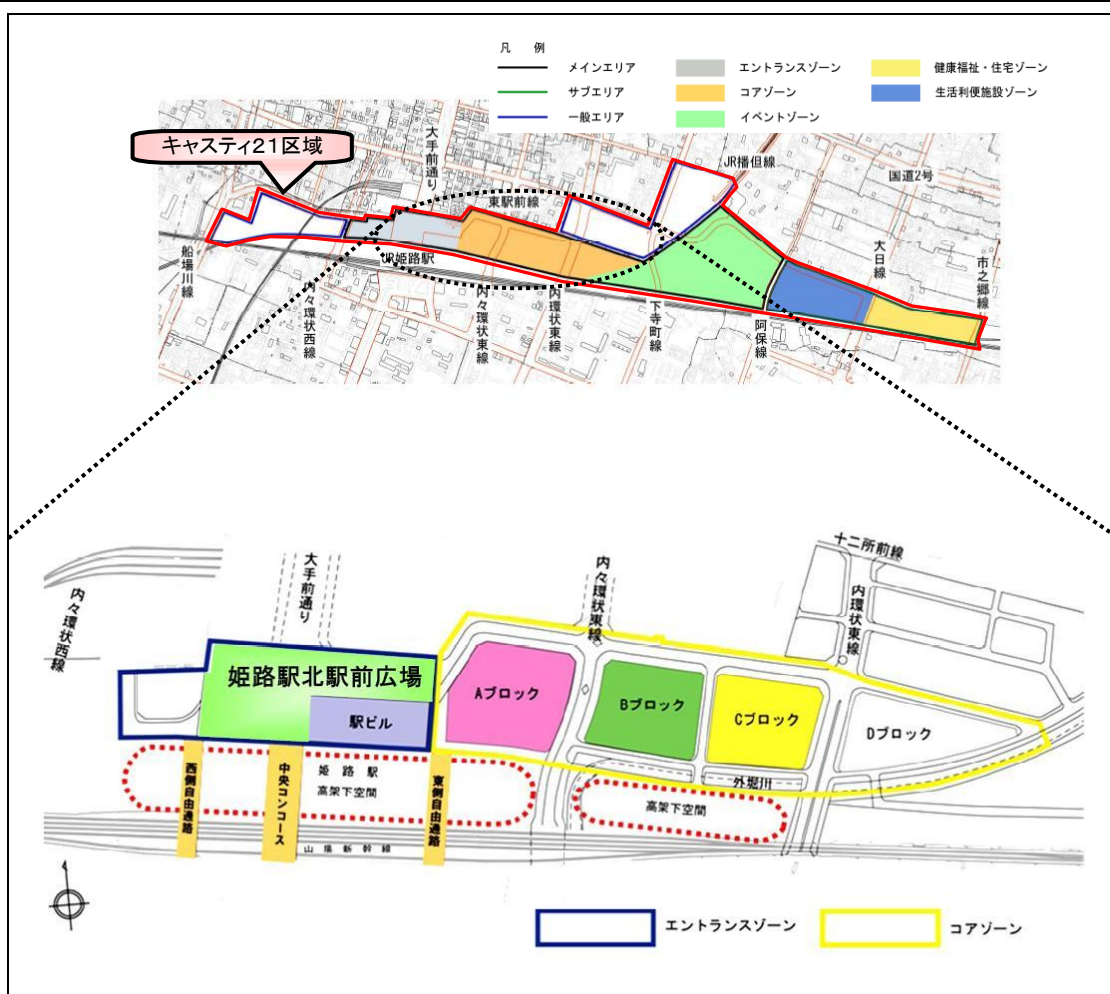
本市を訪れる観光客を含む来街者がまず目にする場所であり、第一印象を与える重要な地区であるため、基盤整備スケジュールに合わせ、播磨の中核都市にふさわしい都市の顔として整備する。

#### (2) コアゾーン (3.3ha)

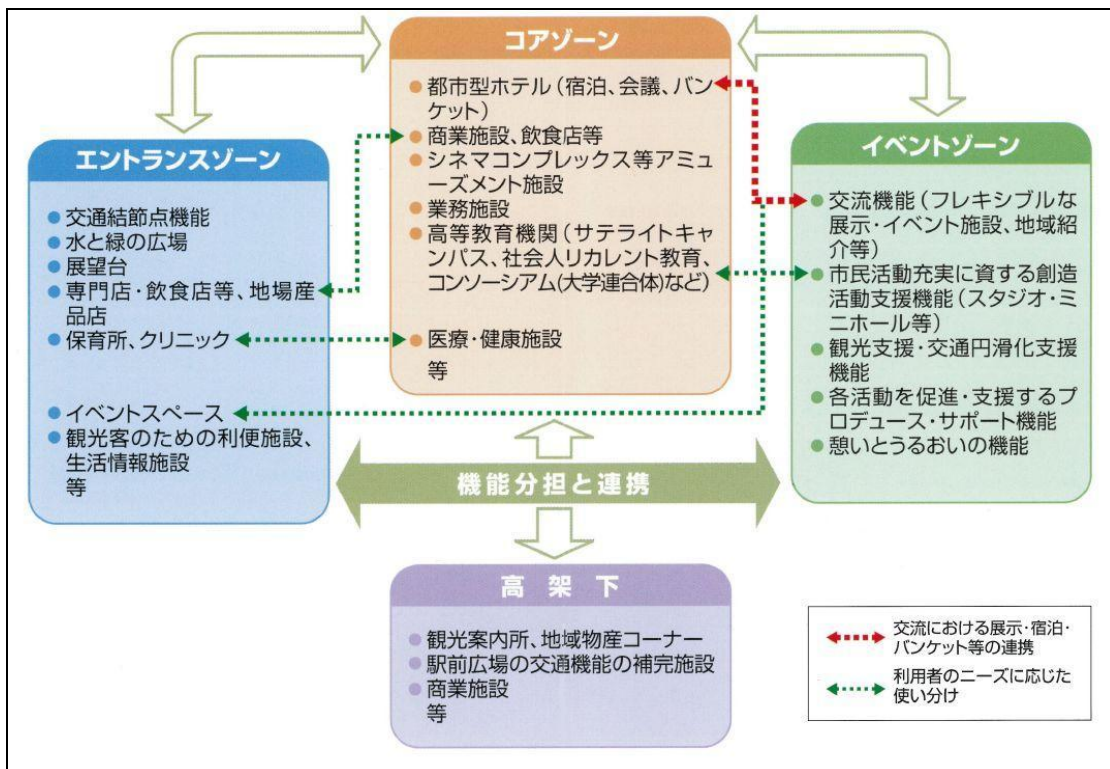
都市基盤整備により新たな街区を形成し、魅力ある商業施設や付加価値の高い都市的サービス産業など播磨の中核都市という広い利用圏を対象とした、新たな高次都市機能の集積を図る。

#### (3) イベントゾーン (7.9ha)

都心部に残された最後の大規模空間であり、都心部のまちづくりにおいて重要な役割を担うゾーンであるため、「交流と創造のうるおい広場」と位置付け、交流、創造、うるおいなどをキーワードとする機能の導入を図る。



カスティ 21 のゾーニング



カスティ 21 の導入機能



## 【参考②】 姫路駅周辺の道路網について

姫路駅周辺は、鉄道高架事業に伴い、船場川線、内々環状西線、内々環状東線、内環状東線、下寺町線、阿保線、大日線などの都市計画道路の整備が進められている。これらの都市計画道路が整備されることによって、姫路駅周辺の道路交通基盤が概ね完成することとなり、市街地の南北交通の円滑化、姫路駅やキャスティ21地区へのアクセス性が高まることとなる。

凡 例

都市計画道路	
— (黒)	整備済
— (赤)	事業中
— (緑)	未整備 (現道あり)
— (青)	未整備 (現道なし)
— (オレンジ)	鉄道高架事業
● (赤)	官公署
● (青)	教育施設
● (緑)	医療施設
● (黄)	商業施設
● (紫)	その他の施設
● (ピンク)	事業所・商業施設が集積しているゾーン



姫路駅周辺の都市計画道路

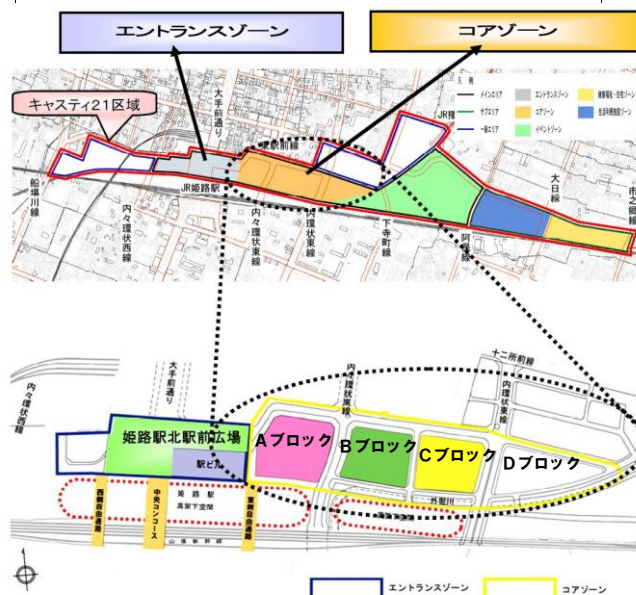
## 〔2〕 具体的事業の内容

### （1） 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

### （2） ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>キャストィ 21 コアゾーン整備事業</b></p> <p>【内容】 キャストィ 21 エントランスゾーンの東に隣接した街区であるコアゾーンの整備（姫路駅東地区歩行者デッキ、地下街改修）</p> <p>・面積 Aブロック：約 1.0ha Bブロック：約 0.8ha Cブロック：約 0.8ha Dブロック：約 0.7ha</p> <p>【実施時期】 H19～</p>	<p>姫路市</p>	<p>キャストィ 21 エントランスゾーンの東に隣接した大規模な街区であるコアゾーンは、商業施設や都市型ホテルなどの付加価値の高い都市的サービス産業などの立地を目指している地区である。</p> <p>そこで、市が描くまちづくりを確実に実現するため、土地を一時取得した上で、一定の条件を付けて民間に売却し、民間開発を適切に誘導することなどにより、魅力ある商業施設や都市型ホテルなど付加価値の高い都市的サービス産業などの立地を図り、高次都市機能が集積する商業・業務拠点としての整備を進めるものである。</p> <p>広域な利用圏を対象とした魅力ある施設を誘致するとともに、エントランスゾーンからイベントゾーンを結ぶ歩行者デッキ等を整備することによって、多様な歩行者ネットワークと、にぎわいとうるおいにあふれた都心空間を形成し、駅を中心とした街なかの賑わいと回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（姫路駅周辺地区）） H23～H26</p>	





<p><b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業（駅前広場整備事業）</b></p> <p>【内容】        姫路駅北駅前広場の拡張整備（サンクンガーデン整備、交通結節点機能向上（地下街改修、歩行者デッキ・眺望デッキ等・情報発信施設・観光案内情報板等整備・北西デッキ広場等・修景施設）他）        北駅前広場面積：約 1.6ha        南駅前広場面積：約 1.2ha</p> <p>【実施時期】        H18～H26</p>  <p>【姫路駅北駅前広場の整備イメージ】</p>	<p>姫路市        神姫バス(株)</p>	<p>播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える重要な地区であり、市民も、都心部に来たというときめきと憩いを期待する地区である。</p> <p>このため、国内外から多くの人を訪れる都市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりとうるおいにあふれたにぎわいのある駅前空間とするため、姫路駅北駅前広場を現在の 2.5 倍（6,400 m<sup>2</sup>→16,100 m<sup>2</sup>）に拡張整備する。人が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわいの空間として、現在の駅ビル撤去後の地下空間を活用し、新駅ビルの地下階と地下街とを結ぶサンクンガーデンを整備するとともに、バス、タクシー及び一般車乗降場を機能的に再配置し、歩行者デッキの整備など、公共交通機関の利用者が安全で快適に乗り継ぎができるように交通結節点機能の向上を図る。</p> <p>さらに、南北駅前広場の役割分担を踏まえた上で、今後、北駅前広場及び環状道路網の整備状況などを見据え、南駅前広場の整備に取り組んでいく。</p> <p>このように、駅前での新たなにぎわい空間の創出と、JR 姫路駅、山陽電鉄姫路駅、大手前通り及び周辺街区等を結ぶ地下及びデッキレベルの新たなネットワーク形成により、街なかのにぎわい創出と回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（姫路駅周辺地区））        H23～H26</p>
<p><b>駅南土地区画整理事業（姫路駅南西地区）（土地区画整理事業）</b></p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：約 7.4ha</li> <li>・区画道路（幅員 4.0m～11.5m）          延長：1,584m</li> <li>・特殊道路（横断歩道橋：現況利用）          延長：86 m</li> <li>・公園（街区公園 2 箇所）          面積：2,250 m<sup>2</sup></li> </ul> <p>【実施時期】        H19～H26</p>	<p>姫路市</p>	<p>姫路駅の南西に位置する本地区は、中央部から西側には、工場跡地及び関連する倉庫、社宅跡等の未利用地がまとまって残っており、また、地区東側では JR 山陽本線等連続立体交差事業に関連する山陽電鉄線の移設により、旧山陽電鉄線用地が帯状に残り、工場跡地とともに有効な土地利用が行われていない状況であり、公共施設の整備も不十分なまま市街化している。</p> <p>そこで、土地区画整理事業の施行により、都心部にふさわしい計画的な市街地として再生することを目的として、都市基盤施設の整備改善を行い宅地の利用増進を図る。</p> <p>JR 山陽本線等連続立体交差事業の進展により南北市街地の一体化が進む中、JR 南側</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）        H19～H26</p>

		<p>区域での都市基盤施設の整備を進めることにより、街なか居住や新たな商業機能の立地が促進されるため、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>  <p>【現況航空写真（平成 18 年度撮影）】</p>		
<p><b>大手前通り高質空間形成調査（地域創造支援事業）</b></p> <p>【内容】 交通シミュレーションや整備方針の検討等の高質空間形成調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長：830m</li> <li>・幅員：50m</li> </ul> <p>【実施時期】 H21～H22</p>	<p>姫路市</p>	<p>姫路駅と世界文化遺産・姫路城を結ぶ大手前通りは、戦災復興土地区画整理事業によって昭和 30 年に完成した。</p> <p>当時としては先進的な広幅員街路であり、また、「日本の道百選」にも選出されるなど、本市のシンボルロードとしての役割を担っているが、都心部の回遊を促し、にぎわいの創出を図るためのさらなる活用が求められている。</p> <p>そこで、大手前通り整備による自動車交通流動変化を把握し、大手前通りの歩行者優先の道路空間に向けた整備方針の検討を目的に高質空間形成調査を行うことで、にぎわいを創出し、中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを目指すものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） H21～H22</p>	

<p><b>姫路公園（大手前公園）改修事業（公園）</b></p>	<p>姫路市</p>	<p>中心市街地の商業集積地の北端で姫路城大手門横に位置する大手前公園は、市民はもとより国内外からの来訪者が多い、交流する場として利用されており、中心市街地活性化のためのイベント等が年間を通じて多数行われているが、楽しくにぎわいのあるまちづくりのために、さらなる活用が求められている。</p> <p>そこで、イベントに利用しやすい公園形態に改修し、日常の公園利用を促進するとともに、多彩なイベント開催などを通して、中心市街地の回遊拠点としてのより一層の活用を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>まちづくり 交付金 H18～H21</p>
<p><b>【内容】</b> 砂塵防止及び水はけのよい舗装を導入した多目的広場の整備、多機能トイレの整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積：約 2.5ha</li> <li>・園路広場 8,644 m<sup>2</sup></li> <li>・多目的広場 5,102 m<sup>2</sup></li> <li>・ちびっ子広場 1,100 m<sup>2</sup></li> <li>・緑地 5,285 m<sup>2</sup></li> <li>・管理用通路 3,463 m<sup>2</sup></li> <li>・トイレ <ul style="list-style-type: none"> <li>多機能トイレ 1 箇所</li> <li>既設トイレ 2 箇所</li> </ul> </li> <li>・休憩施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>休憩所 1 箇所</li> <li>パーゴラ 1 箇所</li> <li>ステージ 1 箇所</li> </ul> </li> </ul>			
<p><b>【実施時期】</b> H18～H21</p>		<p>【計画平面図】</p>	



(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>J R 山陽本線等連続立体交差事業</b></p> <p>【内容】</p> <p>(1)連続立体交差事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 山陽本線 市川右岸～ 中央南北幹線 4,260m</li> <li>・ JR 姫新線 姫路駅取付部 1,333m</li> <li>・ JR 播但線 姫路駅取付部 1,036m</li> <li>・ 貨物・車両基地 別所・飾西地区へ移設 10.7ha</li> <li>・ 山陽電鉄 延末線～姫路駅 870m</li> </ul> <p>(2)連続立体交差事業関連 街路整備事業</p> <p>① 交差道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内環状東線 延長 255m 幅員 30m</li> <li>・ 船場川線 延長 538m 幅員 30m</li> </ul> <p>(2) 関連側道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本線高架側道 1 号線 延長 582m 幅員 9m</li> </ul> <p>【実施時期】 S63～H22</p>	兵庫県	<p>JR 姫路駅を中心とする地区は、各種交通機関や商業・業務機能が集中する播磨地域の交流拠点であり、社会・経済活動の中心地でもあるが、JR 各線が平面で東西を貫通し、広大な貨物ヤード跡地等が南北交通の流れを妨げ、市街地発展の大きな障壁となっている。こうした状況を踏まえ、姫路駅周辺整備の基幹事業として、JR 姫路駅付近の鉄道高架化を進めることで、踏切の撤去による安全性の確保、交通渋滞の緩和、騒音と排気ガス等の軽減による環境負荷の軽減、南北を結ぶ都市計画道路の大幅な増加による南北交通の円滑化、JR 姫路駅を中心とした南北市街地の一体化を図り、さらに、広大な鉄道施設跡地を活用した新たなまちづくり計画であるキャストィ 21 の推進や高架下空間の有効利用などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(連続立体交差事業)</p> <p>S63～H22</p>	

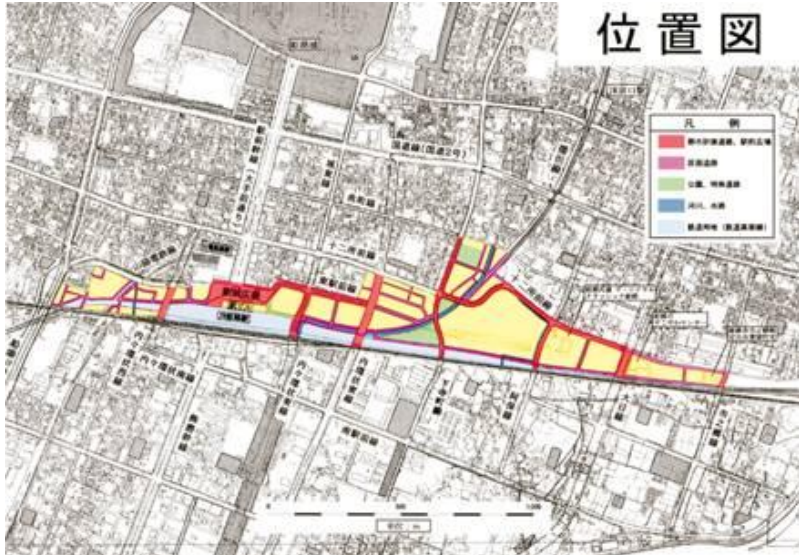


【姫路駅付近高架切替】



【播但線高架切替】

<p><b>姫路駅周辺土地区画整理事業</b></p> <p>【内容】 面積：45.45ha</p> <p>(1)幹線道路 ・大日線 延長：122 m 幅員：36 m ・内環状東線 延長：260 m 幅員：30 m ・内々環状東線 延長：164 m 幅員：25 m ・内々環状西線 延長：118 m 幅員：25 m ・東駅前線 延長：391 m 幅員：25 m ・十二所前線 延長：763 m 幅員：20 m ・下寺町線 延長：423 m 幅員：16～18m ・阿保線 延長：178 m 幅員：15 m ・市之郷線 延長：80 m 幅員：15 m (区画道路 延長：5,298 m 幅員：4～20 m)</p> <p>(2)駅前広場 16,100 m<sup>2</sup> (現況 6,400 m<sup>2</sup>)</p> <p>(3)公園 神屋公園 (6,402 m<sup>2</sup>) 他 2 箇所計 16,940 m<sup>2</sup></p> <p>(4)河川・水路 外堀川、北条川、安田川、 他水路計 2,419 m</p> <p>【実施時期】 H 元～H28</p>	<p>姫路市</p>	<p>JR 山陽本線等連続立体交差事業にあわせて実施する本事業により、JR 山陽本線等の高架用地の確保とともに、JR 姫路駅を中心とする南北市街地の一体化を図る交通体系の確保、都市計画道路、公園、河川等の公共施設の整備改善を行い、新都市拠点としてふさわしい街区を形成し、多様な機能立地を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(土地区画整理事業) S61～H28 社会資本整備総合交付金(道路事業(区画)) H15～H26</p>
<p><b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業(駅前広場整備事業)(再掲)</b></p> <p>【内容】 姫路駅北駅前広場の拡張整備(サンクンガーデン整備、交通結節点機能向上(地下街改修、歩行者デッキ・眺望デッキ等・情報発信施設・観光案内</p>		<p>姫路市 神姫バス(株)</p> <p>播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるエントランスゾーンは、まちの顔として、姫路への来訪者に第一印象を与える重要な地区であり、市民も、都心部に来たというときめきと憩いを期待する地区である。 このため、国内外から多くの人々が訪れる都市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりとうるおいにあふれたにぎわいのある駅前空間とするため、姫路駅北駅前広場を現在の 2.5 倍(6,400 m<sup>2</sup>→16,100</p>	<p>社会資本整備総合交付金(道路事業(区画)) H23～H26</p>



【姫路駅周辺土地区画整理事業位置図】

<p>情報板等整備・北西デッキ広場等・修景施設) 他) 北駅前広場面積:約 1.6ha 南駅前広場面積:約 1.2ha</p> <p>【実施時期】 H18～H26</p>		<p>m<sup>2</sup>)に拡張整備する。人が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわいの空間として、現在の駅ビル撤去後の地下空間を活用し、新駅ビルの地下階と地下街とを結ぶサンクンガーデンを整備するとともに、バス、タクシー及び一般車乗降場を機能的に再配置し、歩行者デッキの整備など、公共交通機関の利用者が安全で快適に乗り継ぎができるように交通結節点機能の向上を図る。</p> <p>さらに、南北駅前広場の役割分担を踏まえた上で、今後、北駅前広場及び環状道路網の整備状況などを見据え、南駅前広場の整備に取り組んでいく。</p> <p>このように、駅前での新たなにぎわい空間の創出と、JR 姫路駅、山陽電鉄姫路駅、大手前通り及び周辺街区等を結ぶ地下及びデッキレベルの新たなネットワーク形成により、街なかのにぎわい創出と回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p><b>キャストィ 21 エントランスゾーン整備事業 ((仮称) 姫路駅西交通広場整備事業)</b></p> <p>【内容】 姫路駅北駅前広場西側隣接街区に一般車乗降場などを設置 面積:約 0.3ha</p> <p>【実施時期】 H20～H25</p>	<p>姫路市</p>	<p>姫路駅西側からの駅利用者の利便性を高めるため、姫路駅北駅前広場の西側に隣接した街区に、一般車乗降場などを設置することによって、北駅前広場の交通機能を補完するとともに、土地の高度利用を図り、姫路駅西地区の新たなにぎわいを創出するものである。</p> <p>駅利用者の利便性をさらに高めるとともに、土地の高度利用によるにぎわいの創出を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(道路事業(区画)と一体の効果促進事業) H24～H25</p>	
<p><b>JR 姫路駅自由通路整備事業</b></p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央コンコース 延長:100m 幅員:24m</li> <li>・東側自由通路 延長:100m 幅員:16m</li> <li>・西側自由通路 延長:100m 幅員:16m</li> </ul> <p>【実施時期】 H15～H23</p>	<p>姫路市</p>	<p>JR 山陽本線等の高架下空間に中央コンコースとあわせて JR 姫路駅の南北を結ぶ自由通路を整備することで、山陽電鉄線、南北バスターミナル等の公共交通機関等の乗り継ぎ利便性の向上や駅の南北の安全で快適な歩行者ネットワークを確保するもの。歩行者の利便性や回遊性の向上などにつながるものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(道路交通環境改善促進事業) H15～H23</p>	



		 <p style="text-align: center;"><b>【東側自由通路バス】</b></p>	
<p><b>都心環状道路網の整備</b></p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内々環状西線 延長：352m 幅員：25m</li> <li>・内々環状東線 延長：318m 幅員：25m</li> <li>・内々環状南線 延長：160m 幅員：20m</li> <li>・内環状東線 延長：400m 幅員：30m</li> </ul> <p><b>【実施期間】</b> H9～H30</p>	<p>姫路市</p>	<p>中心市街地及び都心部への通過交通を排除し、集散交通を円滑にするため、中環状、内環状、内々環状道路を骨格とした関連道路整備を図るものであり、JR山陽本線等連続立体交差事業と一体的に道路整備を行い、姫路駅周辺の交通軸の確保を行うものである。</p> <p>都心交通を円滑化するとともに、安全で快適な歩行者動線を確保することにより、自動車・歩行者・自転車の利用環境の向上、回遊性の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（道路事業（街路）） H10～H26</p> <p>社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（連続立体交差関連公共施設整備事業） H14～H26</p>
<p><b>都市計画道路整備事業（高尾線）</b></p> <p><b>【内容】</b> 延長：390m 幅員：20m</p> <p><b>【実施時期】</b> H20～H24</p>	<p>姫路市</p>	<p>高尾線は、本市の中心部である JR 姫路駅の駅前や内々環状道路へのアクセス道路であり、船場川線及び内々環状西線との電線共同溝のネットワーク化を図るとともに、電線共同溝整備とあわせて歩道拡幅を行い、安全かつ円滑な道路交通の確保及び都市景観の向上を図るものである。</p> <p>中心市街地での安全かつ快適な歩行者・自転車の利用環境の確保及び都市景観の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（道路事業（街路）） H20～H24</p>



<p><b>都市計画道路整備事業 (船場川線)</b></p> <p>【内容】 延長：602m 幅員：30m</p> <p>【実施時期】 H17～H24</p>	<p>兵庫県</p>	<p>姫路駅西部の内環状道路として、JR 山陽本線等連続立体交差事業と一体的に道路整備を行い、姫路駅周辺の南北交通軸の確保を行うものである。</p> <p>通過交通の抑制や過度な流入交通の抑制等による都心交通の円滑化を図り、自動車・歩行者・自転車の利用環境の向上、回遊性の向上などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路)) H17～H24 社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(連続立体交差関連公共施設整備事業) H17～H24</p>	
<p><b>電線類地中化事業</b></p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内々環状東線 延長：140m</li> <li>・内々環状南線 延長：320m</li> <li>・内環状東線 延長：800m</li> </ul> <p>【実施時期】 S61～H29</p>	<p>姫路市</p>	<p>中心市街地における安全かつ円滑な道路交通の確保及び都市景観の向上を目的として、電線類地中化を実施する事業である。</p> <p>中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(道路事業(街路))(連続立体交差関連公共施設整備事業) H14～H25</p>	
<p><b>合流式下水道緊急改善事業</b></p> <p>【内容】 下水道管の流下能力増強等 延長：21,080m</p> <p>【実施時期】 H16～H45</p>	<p>姫路市</p>	<p>雨天時における未処理下水の船場川及び外堀川への流出抑制、中心市街地内での浸水対策として、下水道管の流下能力増強等を実施する事業である。</p> <p>中心市街地において安全・安心に住み、各種活動が展開できる基盤施設整備であり、中心市街地の活性化に向けて必要な事業である。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(下水道事業) H16～H26</p>	

**(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業**

該当なし

#### (4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><b>大手前通り利活用向上事業</b></p> <p>【内容】 大手前通りの利活用向上に取り組む。 ・延長：830m ・幅員：50m</p> <p>【実施時期】 H21～</p>	姫路市	<p>姫路駅と世界文化遺産・姫路城を結ぶ大手前通りは、戦災復興土地区画整理事業によって昭和30年に完成した。</p> <p>当時としては先進的な広幅員街路であり、また、「日本の道百選」にも選出されるなど、本市のシンボルロードとしての役割を担っているが、都心部の回遊を促し、にぎわいの創出を図るためのさらなる活用が求められている。</p> <p>そこで、高質空間形成調査を踏まえつつ利活用向上に取り組むことにより、にぎわいを創出し、中心市街地の魅力を高め、来街者の回遊性の向上や滞在時間の増大などを図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p><b>高齢者バリアフリー道路特定事業</b></p> <p>【内容】 ・城南24号線 点字ブロック張替・歩道改修 延長：270m ・城南25号線 点字ブロック張替・歩道改修 延長：350m ・城南32号線 歩道改修 延長：65m ・幹第8号線 点字ブロック設置・歩道改修 延長：2010m</p> <p>【実施時期】 H20～H27</p>	姫路市	<p>高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の利便性及び安全性の向上の実現に向け、交通バリアフリー道路特定事業計画に基づいて、歩道段差切り下げ、点字ブロック張り替え、歩道改修を行うものである。</p> <p>姫路駅周辺における高齢者や障害者をはじめとする歩行者の快適性・安全性を高め、回遊性の向上を図るものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>		
<p><b>南駅前町公園整備事業</b></p> <p>【内容】 園路整備・バリアフリー化・植栽計画などによる公園のリニューアル ・面積：0.26ha</p> <p>【実施時期】 H21</p>	姫路市	<p>姫路駅の南側に位置する南駅前町公園は、近隣の住民はもとより、近隣の事業所で働く従業員にとっての憩いの空間として利用されてきたが、老朽化によりその機能が低下してきている。</p> <p>そこで、園路整備・バリアフリー化・植栽計画などを行うことにより公園をリニューアルするものである。</p> <p>都心の公園を快適な憩いの空間として再生し、来街者にとっても魅力的なものとする。</p>		



		する本事業は、都心居住の魅力の向上や回遊性の向上につながるものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。		
--	--	--	--	--